

「コンフリクトの人文学」ワークショップ  
(文化社会学&地域共生論共同イベント)

日本の地方におけるコンフリクト  
ボランティアと観光の接点から探る

日時：12月4日(火) 午後2時40分

場所：大阪大学吹田キャンパス人間科学部東館1階105教室

パネラー

前田武彦(神戸国際大学)「多様化する観光、地方からの発信」

渥美公秀・関 嘉寛(CSCD)「地方とボランティア」

司会 山中浩司(人間科学研究科)

加速する過疎化、消滅する集落、取り残される地方、拡大する格差、頻発する災害、悪化する財政、無数の困難に直面する地方にとって、ボランティアと観光は何をもたらすのか。地域の生活の中でボランティアと観光はどんなふうに出会うのか。地域振興、観光、ボランティアに関心をもつすべての人に問いかけるシンポジウムです。

ワークショップは、学部学生・大学院生を対象としたもので、パネラーの報告と会場を含めたラウンドテーブル式ディスカッションを交えて行います。

外部パネラー紹介

前田武彦(神戸国際大学)

関西では希少な観光社会学者。業界と学会双方に広域のネットワークをもつ。秘境観光、エコツーリズム、都市観光などに論文多数。温泉についても知識経験ともに他を圧倒する。NPO法人 観光力推進ネットワーク関西 監事。